

## 第5学年〇組 学級活動（1）指導案

日時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

場所 〇年〇組教室

指導者 八代市立〇〇小学校 〇〇 〇〇

### 1 議題 〇〇幼稚園の子どもたちと絆を深める交流会をしよう（1）一ウ

### 2 議題について

#### （1）児童の実態

本学級の児童は、明るく元気で、係や当番活動など何事にも積極的に取り組み、時にはケンカをすることもありますが、男女仲良く協力し合って学校生活を送ることができるようになってきている。4月から高学年になり、委員会活動や運動会などの大きな行事での役割、様々な活動を通して「自分たちが〇〇小学校を支えていかなければ」という意識が少しずつ芽生えているところである。

これまでの学級活動では、議題を知らせると、挙手はしなくとも、自分なりの考えを口々につぶやく姿が見られる。しかしながら、学級会では、発言の内容よりも、発言回数に目標を置いている子供も少なくない。「出し合う」場面では、理由を述べるものの、自分の思いが浅く具体例を挙げて説明するなど説得力のある意見はまだ少ない。また、「比べ合う」場面では、自分の思いが先行して、発言が繋がらなかつたり、整理して板書をするのができず、論点がずれてしまつたりすることがある。「決定する」場面では、折衷案は出てくるものだけれども納得できるような新しいものを作っていくまでには至っていない。そこで、朝の会や帰りの会でミニ学級会を行い、話し合いの経験を積む機会や、教科等の学習でも3～6人の少人数での話し合い活動を設けて、意見を「出し合う」「比べ合う」「まとめる・決定する」といった一連の活動を行ってきている。小集団での話し合い方のルールを身に付けさせることに加え、何でも意見を言い合える人間関係づくりに努めることで、意見を述べる達成感を味わわせていきたい。また、話し合いは勝ち負けではなく、一人でも多くの人の考えを生かしながら答えを見つける時間であることを意識させ、集団決定の場では、安易な多数決にならないようにしたい。そして、「よりよい意見とは何か」を繰り返し指導し、子供の発言を称賛したり、「みんなもよくて自分もよい方法はないか」と助言したりして、折衷案だけでなく、練り上げる話し合いへと質的変換を図っていきたい。加えて、議題について話し合い、みんなで作って行く中で、自分たちの活動を振り返り、お互いの成長を確かめ合うようにしたい。

#### （2）議題選定の理由

高学年になり1学期が終わろうとしている。委員会活動や運動会などの大きな行事を通して、高学年として学校のためにという意識や自分たちがどうあるべきかということを考えて過ごすことができるようになってきている。本校では、幼保小連携の一環として、7月と2月に、来年度入学（自分たちが6年生になったときの1年生）との交流会が位置付けてある。高学年としての責任感を高めるとともに、自分たちで企画・準備・実践という一連の流れを行うことで更なる成長が期待されると考え、今回は教師がこの議題を選定した。このことは学級目標の具現化にもつながると考える。

### 3 資質・能力を育むための学びの過程における支援の工夫

学びの過程において、資質・能力を育むために以下のような支援の工夫を位置付け、児童の「幼稚園の子供たちとの交流会」への目的や話し合い、実践等への意欲・参画意識を高めていく。

**【つかむ段階】** 昨年までの様子を提示し、「来年に向けて、幼稚園の子供たちが小学校にいいイメージを持ってもらうためには」という問いかけをし、交流会への責任感と思いを強くさせる。そして具体的な提案理由を考え、活動計画を作成・提示し、話し合いの流れを全体で共有する。

**【深める段階】** 学級会において、提案理由を振り返り、本時の目的・内容・流れを共有させる。そして、話し合いでは賛成点や気になる点を整理しながら、みんなにとって思いが深まる内容へと収束させる。そのために、出された考えをカードで板書上に提示し、意見を可視化・構造化しながら話し合い活動を進めていく。

**【生かす段階】** 「幼稚園の子供たちとの交流会」に向けて児童が主体となり話し合いをし、計画をし、実践していく。このような取り組みを通し、学級目標の達成に向けた活動の達成感や自己有用感、さらに次の活動への意欲を高め、学級・学校生活への参画意識を高めていく。

### 4 目標

(1) 学級目標を具現化していくために、議題に対する自分の考えを持ち、話し合いの効率的な進め方を理解し、決定したことについてみんなで実践することの意義や方法について理解している。

**【知識・理解】**

(2) 活動計画に基づき、よりよい学級や学校生活づくりに向けて考え、判断し、互いの意見に折り合いをつけながら建設的に話し合っている。

**【思考力・判断力・表現力】**

(3) 幼稚園の子供たちに喜んでもらい、より良い関係を築くという責任感をもち、そのための企画について主体的に話し合い、学級目標に向かいながら、思いが反映するような交流会をしようとする態度を育てる。

**【学びに向かう力・人間性】**

5 資質能力を育むための学びの過程（活動計画）

段階	過程	日時	児童の活動	指導上の留意点	育む主な資質・能力	
つかむ段階	課題の発見・確認	7/1（月） 昼休み  7/3（水）  7/9（火） 放課後	○第1回計画委員会 ・議題の確認 ・提案理由の話合い ・話合いの柱の設定 ○帰りの会 ・昨年度の交流会の様子 の写真を見てイメージ をつかむ。 ・どんなことをしたのか どんな遊びが可能かを6 年生から話を聞き、情報 を共有する。 ○第2回計画委員会 ・意見の集約 ・板書計画 ・予想	○何のために交流会 を行うのか、目的を きちんと確認して おく。 ○交流会のイメージ が広がるように、昨 年度までの写真を 提示する。 ○昨年度経験してい る6年生からの話 を聞かせることで、 相手の目線に立っ た企画ができるよ うにする。	<b>【知識・技能】</b> 交流会の目的や話合 いの進め方を理解し、教 師の指導・助言の下、活 動計画を作る。 <b>【思考力・判断力・表現 力】</b> 友達の意見を事前に集 約、分類し、話合いの論 点を明らかにし、計画的 な話合いの準備を進 めている。	
深める段階	解決方法の話合い・決定	7/11（木） 6校時	<table border="1"> <tr> <td> <p>議題 ○○幼稚園の子供たちと絆を深める交流会をしよう。</p> <p>○「交流会での企画」について話合い、合意形成する。</p> <p>○相手に喜んでもらい、関係を築けるには何が必要かを考える。</p> <p>*本時の展開参照</p> </td> </tr> </table>			<p>議題 ○○幼稚園の子供たちと絆を深める交流会をしよう。</p> <p>○「交流会での企画」について話合い、合意形成する。</p> <p>○相手に喜んでもらい、関係を築けるには何が必要かを考える。</p> <p>*本時の展開参照</p>
<p>議題 ○○幼稚園の子供たちと絆を深める交流会をしよう。</p> <p>○「交流会での企画」について話合い、合意形成する。</p> <p>○相手に喜んでもらい、関係を築けるには何が必要かを考える。</p> <p>*本時の展開参照</p>						
生かす段階	決めたことの実践	7/12（金） ～ 7/16（火）  7/17（水）	○計画を作成する。 ○企画の準備を行う。 ○みんなに披露し、改善 点など意見交換をして 決定する。	○完成目標から逆算 してのタイムスケ ジュールと責任者 を決める。	<b>【学びに向かう力・人間 性】</b> 自分の役割を理解し、 決められた日程までの 見通しをもって、自主 的に活動を行っている。	
	振り返り	7/18（木）	○交流会を終えての振り返り活動を行う。	○実行までのあゆみを振り返り、達成感と有用感を味わえるようにする。	<b>【思考力・判断力・表現 力】</b> 活動を振り返り、反省 したことや学んだこと を今後の学級生活に生 かそうとしている。	

6 本時の目標

- 幼稚園の子供たちと仲良くなりたい、小学校を楽しい場所だと感じてほしいという目的を意識しながら話し合いを進め、互いの意見を取り入れながら企画について考えることができる。
- 話し合いを通して、児童一人一人が高学年として学校や他者のためにすべきことを考え、それを実践していこうとする態度を育てる。

7 本時の展開

段階	話し合いの流れ	児童の活動	支援と評価（資質・能力）
つかむ 5分	1 はじめの言葉 2 役割紹介 3 話し合いのめあての確認 4 議題・提案理由の確認	1 これまでの活動を振り返り、提案理由やめあてを確認する。  来年度入学する幼稚園の子供たちに喜んでもらえるような企画を考えよう。	○話し合いの目的を明確にするため、また一人一人の問題意識を高めるために、「何のための交流会なのか」を話し合いの出発点である提案理由で確認する。
出し合う 比べあう 35分	5 話し合い 小柱① どんな企画をしたら喜んでもらえるかを考えよう。  小柱② どんな係が必要か	2 どんな企画をすると、幼稚園の子供たちが喜んでくれるのか、小学校を楽しい場所だと感じてもらえるかを話し合う 【予想される話し合い】 (1)自分の考えを理由も添えて出し合い、「提案理由」や「話し合いのめあてに近づくか」の観点から考えを比べ合う。 ・みんなで遊べるゲームを入れたらいいのではないかな。 ・水鉄砲など幼稚園の子供たちが喜ぶおもちゃを使った遊びをしたらどうか。 ・プレゼントを用意したらいいのではないかな。 ・水中宝探しの宝を工夫したらどうか。 (2)話し合いを収束し、考えをまとめる。 【予想される話し合い】 ・各ゲームを進める係 ・会の流れを決める係 ・プレゼントのデザインを考える係	○発言に自信をもたせるために、学級会シートに事前に励ましのコメントを添えておく。 ○児童のこれまでの話し合いの振り返りをもとに、めあてを設定する。 ○小柱①では、交流会を成功させるために、考えた企画を掲示しておく。友達の意見を確かめ、発言を確認してつなげられるようにするために、司会者グループを含めた全ての子供が常に板書を確認できるよう板書の仕方を工夫する。  【思考力・判断力・表現力】 出てきた意見に対して、提案理由・学級目標などの観点に照らし合わせて建設的な質問をし、多面的に意見を述べている。
まとめる 5分	6 決まったことを確認 7 先生の話 8 終わりの言葉	3 話し合いの自己評価、教師の話をもとに振り返り、決定した事への実践の意欲をもつ。	○「先生の話」で合意形成までの論点を意識した発言や折り合った意見を称賛し、「学級会で最も大切なことは、決定したことを全員が協力して実践すること。」であることを話し、実践への意欲付けを図るようにする。

## 学級会の実際の様子



去年の様子を掲示したり、6年生にインタビューしたりして、当日のイメージが湧くようにしました。

「絆を深めるため」「小学校が楽しい所だと思ってもらえるため」という視点で話し合いを進めていきました。いくつかまで絞り込みましたが、1つではなく、「ボールゲーム」「魚釣り」「水中ショーを見せる」「水鉄砲」の遊びを組み合わせ「夏祭り」という形にし、チームに分かれて準備を行うことになりました。折り合いをつけるのは難しかったですが、みんなが提案理由に沿って話し合うことができたかなと思います。



## 交流会の実際の様子



アーチで迎えると喜んでくれるかな



ボールプールゲーム



水が怖くないように、サポートしよう



魚釣りゲーム



水鉄砲コーナー



チームに分かれ、役割分担がしたことで、家から道具を持ってきたり、作ったりと、主体的に活動する姿が見られました。当日は、園の子たちを楽しませようと、5年生なりに一生懸命交流することができました。今回「幼稚園の子たちとの会」について話し合いましたが、「だれかのために」という議題にしたことで、話し合い、準備、実践と行う中で、子どもたちが大きく成長し、輝くきっかけになると実感しました。これからも、議題を大事に、話し合ったことが実践につながり、子供たちが達成感をもち、自分の成長を自覚できるようなサイクルで取り組んでいきたいと思います。